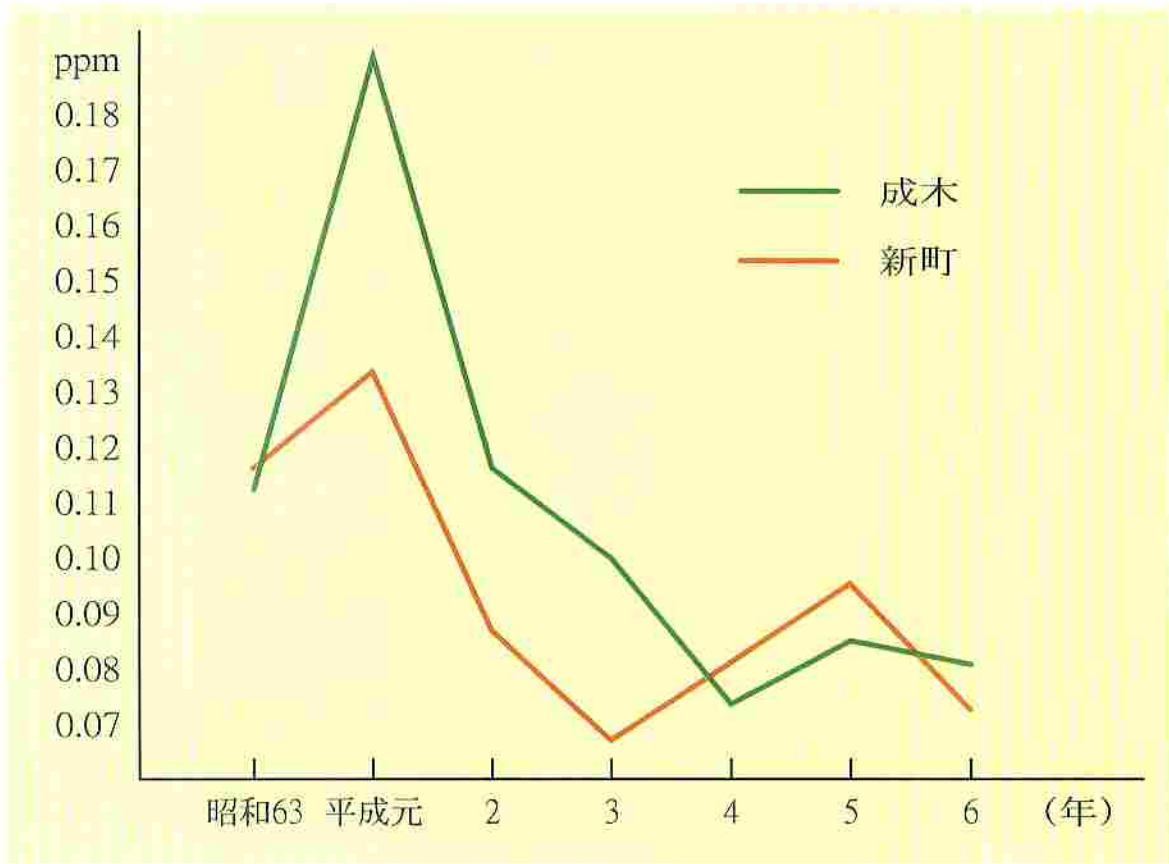


③ 空気のごれ



大気汚染調査 (NOx測定) (青梅市環境保全課)

空気がよごれると、私たちの健康や生活に悪い影響が出てきます。空気はなぜよごれるのでしょうか。

空気をよごす原因には、工場のけむりや、自動車の排気ガスなどがあります。その中の「窒素酸化物 (NO_x)」が空気をよごすもとになっています。

青梅市は東京都のなかでも空気のきれいなまちです。上のグラフを見ても分かるように年々きれいになってきていますが、ほんとうによいというわけではありません。

空気をよごすもとの「窒素酸化物」は、その多くが自動車の排気ガスから出されています。自動車の交通量がふえれば「窒素酸化物」ももちろん増えて、空気のごれもひどくなります。私たちの青梅市も自動車がたくさん通っています。このままでよいでしょうか。

空気のごよれは季節によってもちがいます。夏に比べて、冬は特によごれています。あたたかい空気が地表の冷たい空気をとじこめてしまい、よごれた空気のにげ場をなくしてしまうためです。(図1)

冬だけではなくありません。夏の暑く風のない日に、目がチカチカしたり、のどがいたくなったりしたことはありませんか。

これは、「光化学スモッグ」という空気のごよれの一つです。「窒素酸化物」などが、太陽の光にあたっておこるものです。青梅市でも毎年夏になると、「光化学スモッグ注意報」がだされます。この注意報が出ると、外に出ないほうがよいとされています。人のからだばかりか、植物にも悪い影響をあたえます。(表1)

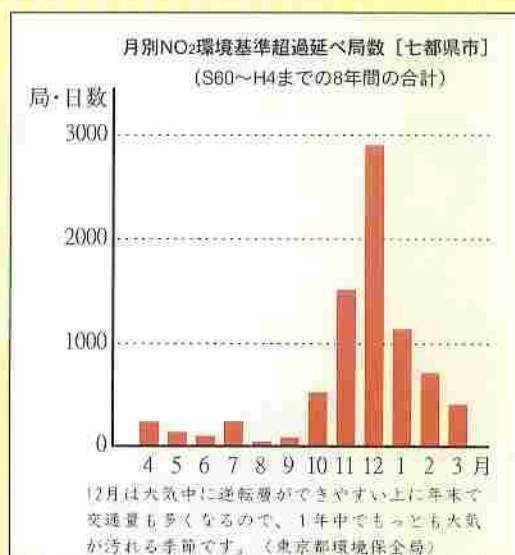
青梅市の美しい自然やきれいな空気をみんなで大切にしていきたいですね。

表1 「光化学スモッグ注意報発令回数」

年	平成元	2	3	4	5	6	7
回	4	21	11	6	2	8	16

(青梅市環境保全課)

図1 空気は冬、特によごれる！



逆転層とは、上空のあたたかい空気と、地表の冷たい空気のさかい目のできる層のことです。この層が地表の空気をとじこめてフタをしてしまうのです。